

## 伊藤 倫子

Ito Tomoko

【出身中学校】東京都内

高校/普通  
大学/畜産学

千葉県出身。大学卒業後畜産企業に就職。その後ラジオリポーターを2年勤め、再び北海道の牧場で研修。結婚し、平成19年に就農。

「やろう！」と  
思った気持ちを  
大切に

## 伊藤 稲馬

Ito Tama

【出身中学校】  
米沢市立南原中学校高校/普通  
大学/畜産学

米沢市出身。大学卒業後三重県の牧場で畜産研修を受け、平成15年に就農。平成28年、株式会社化し代表となる。

稲馬さん

農家に生まれ育ったので、それが仕事になるものだと思っていました。

動物園の飼育係になりたくて、大学へ。

そこから、牛と働くことへ興味が増して。

倫子さん

農家に生まれ育った稲馬さんは、いつか継ぐものとなんたなく思っていました。自分でやりたいと思ったきっかけは大学生の時。「アルバイトをしていた牧場で、家族仲良く一緒に働きながら暮らしている様子がいいな。」と思いました。ブランド牛として米沢牛を育てる意味や、若手農業者に地域が求める声など、就農してから次々に出てくる課題がありますが、「やりたいことを仕事にできる人は少ないと思います。まずは、今やっていることを続けてみようと思うことが大事じゃないかな。」と稲馬さん。

奥様の倫子さんといっしょに働く、充実した日々。一日の終わりに「今日もがんばったね」と努力と無事を分かり合える幸せ。「毎日が当たり前で過ごせること、これが大事ですね。」と稲馬さん。

倫子さんは中学生の時、動物園で働きたいと思い、飼育員に質問を。その時、進学先に勧められた大学の畜産学部で牛と出会いました。リポーター時代、地域を巡り人々の声を届けていた倫子さん。自分は何をやりたいたのか、問い続ける毎日がありました。結論は「やはり牛といっしょに働きたい。」「それぞれの牛の性格や発育を見ながら生産性を上げていくこと。これが畜産のおもしろさと難しさです。」「夢がある子はそれに向かってがんばればいい。まだわからなければ、今日としっかり向き合うこと。その積み重ねが夢につながると思います。」

3人お子さんがいる伊藤夫妻。生き物を育てる仕事から、休みは基本的にありません。「お出かけできなくても、家族で過ごす時間が子ども達にとって良いものであればと願っています。」

## 目標

食べた人が

笑顔になる

米沢牛を育てる。



## 伊藤夫妻にQuestion!

Q. 中学生の頃好きだった教科はなんですか？

稲馬 数学かな。答えが一つだから！  
国語はちょっと苦手でした(笑)

倫子 体育と音楽は好きでした。いつもたくさんの本を読んでいて、国語もできた方かな。



お気に入り  
毎日楽しく！

Q. 今、お気に入りの品を教えてください

稲馬・倫子

農作業用のツナギ。米沢牛という刺繍を入れたらって特注しています。一般的に販売されているモノはぶかぶかなので、胸ポケットにファスナーが付いているツナギを注文。



## 米沢牛いとう牧場の牛



米沢牛いとう牧場  
株式会社が  
育てている牛と  
作っているもの



肉用牛(85頭)  
繁殖用牛(12頭)



米(6.5ha)



そば(60a)

食べた時のサラリとした脂の口どけの良さ、すぐれたうまみと甘み、求められる味のさらに上を目指し、山形県が誇るブランド牛「米沢牛」を育てています。